

第3章

現況把握

-
- 3-1 地域概況
 - 3-2 都市基盤整備状況
 - 3-3 緑地現況・緑化状況
-

第3章 現況把握

3-1 地域概況

(1) 自然的条件

1) 気象

本町の気候は、太平洋岸気候区のうち東海式気候区の特徴を持ち、夏は蒸し暑く、冬は快晴乾燥の日が多くなっています。

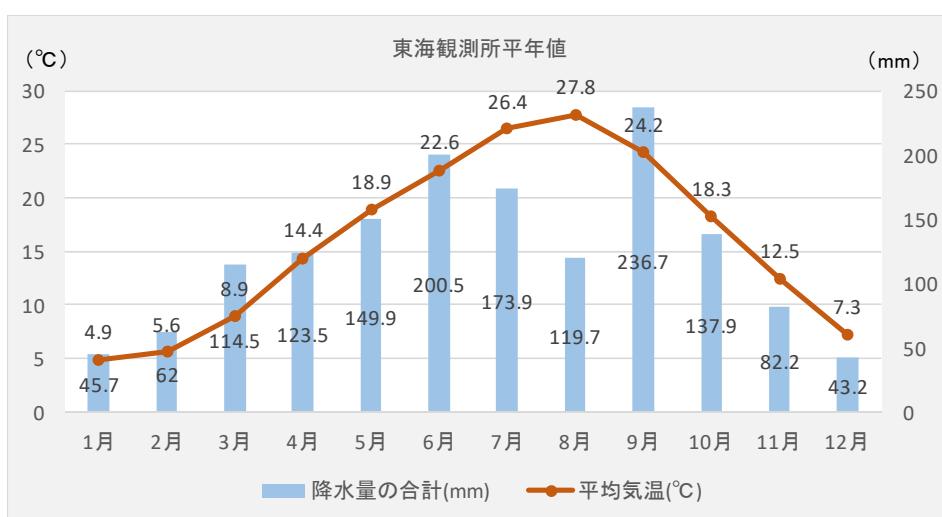
最寄りの東海観測所の平年値をみると、年間平均気温は 16.0°C であり、最も平均気温が低い 1 月で 4.9°C、最も高い 8 月で 27.8°C と年間を通じて比較的温暖な気候となっています。

年間降水量は、1,489mm であり、最も多い月は 9 月の 237mm、最も少ない月は 2 月の 62mm となっています。

■東海観測所の平年値(1981 年から 2010 年の 30 年平均値)

月	平均気温(°C)	降水量の合計(mm)	日最低気温 0°C未満日数 (日)	日最高気温 30°C以上日数 (日)	日最高気温 の平均 (°C)	日最低気温 の平均 (°C)
1月	4.9	45.7	13.3	0	9.5	0.7
2月	5.6	62.0	10.1	0	10.5	1.2
3月	8.9	114.5	2.5	0	14.1	4.1
4月	14.4	123.5	0.1	0.1	20.1	9.2
5月	18.9	149.9	0	1.3	24.3	14.0
6月	22.6	200.5	0	6.0	27.4	18.6
7月	26.4	173.9	0	19.7	31.2	22.7
8月	27.8	119.7	0	27.2	32.9	23.9
9月	24.2	236.7	0	13.0	29.1	20.4
10月	18.3	137.9	0	0.2	23.3	14.1
11月	12.5	82.2	0.2	0	17.6	8.0
12月	7.3	43.2	5.6	0	12.2	2.8

出典: 気象庁ホームページ



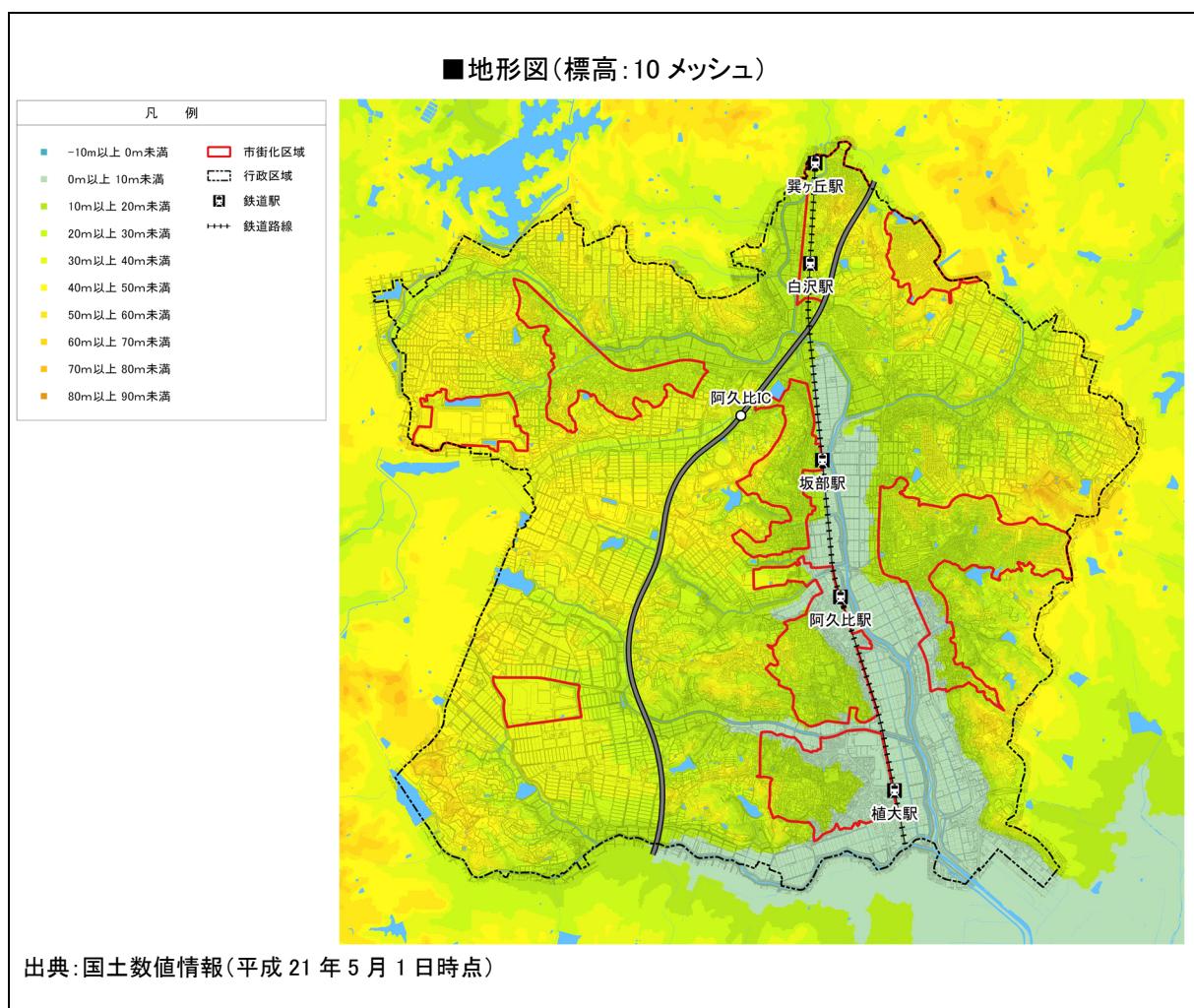
2)地形・地質

本町は、知多半島のほぼ中央に位置し、周囲は半田市、常滑市、知多市、東浦町に接し、東西最長 6.1km、南北最長 5.9km で、面積は 2,380ha を有しています。

本町の地形は、町中央部を南北に流れる阿久比川やその支流である草木川、福山川、前田川、矢勝川などに沿って平坦地が分布しており、その周囲には標高 30m~60m の小高い丘陵地が南北に連なっています。海拔は最高 74.7m（植大陶ヶ峯地内）、最低 0.1m（横松字前田地内）を有しています。

表層地質は、半固結の砂、粘土、シルトからなる常滑層群が広く分布し、丘陵性の地形をつくっています。この層を覆って武豊層、高位段丘堆積層、低位中位段丘堆積層が局的に分布しています。

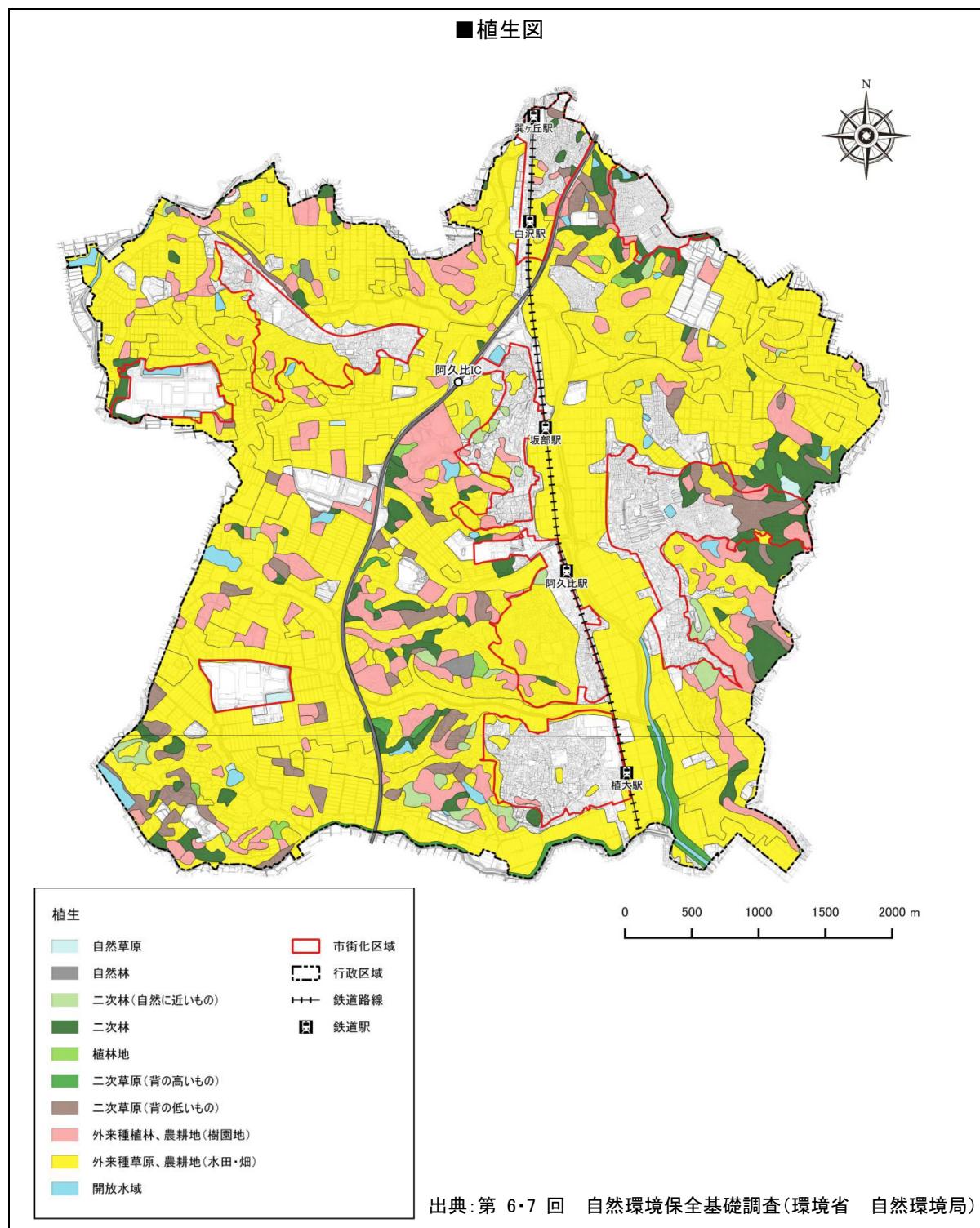
また、河川周辺部のよく開析された谷部の平野部は、砂、粘土を主体とし、礫を伴う沖積層が発達しています。



3)植生

本町における緑は大部分が市街化調整区域にあり、その大半がほ場整備による水田で占められています。

二次林は板山地区・宮津地区の東側の丘陵部にまとまっているほか、知多半島道路と名鉄河和線の間の市街化調整区域に分散してみられます。



4)動物相

本町は、比較的自然に恵まれており、阿久比川水系、ため池、丘陵の樹林地を主に、多種多様の生物の生息が確認されています。

本町では、昭和58年度（1983年）より自然環境保護を推進するために「ホタル飛び交う住みよい環境づくり」をめざし、町民あげて町内に生息するヘイケボタルの発生状況や生態などの研究調査を行い、ホタルを通じて本町の固有の財産である恵まれた自然を大切に保護していくことに取り組んでいます。

■ホタルに関する主な活動経緯

年	活動
S58～	○ヘイケボタルの町内分布調査開始
S60～	○ホタルの宿づくり（東部小学校内にホタルの宿、餌の養殖地を整備）
S61～H5	○ホタルの養殖場設置（※ふれあいの森ホタル養殖場完成後撤去）
H元	○環境庁より小動物生息環境保全地域として「ふるさといきもの里」に選定
H元～	○ほたるサミットの参加
H5	○ふれあいの森に「ホタル養殖場」完成 ○東部小学校に「ホタルと出会う部屋」設置
H6	○ふれあいの森に「ホタル観察室」完成 ○東部小学校に「ホタルワールド（養殖場）」設置 ○「ほたるサミットあぐい'94」を開催
H7	○7月1日を「あぐいほたるの日」に制定
H15	○町制50周年記念ほたるサミットあぐい開催
H22	○「ほたるサミット'10」を開催
H28	○「2016ほたるサミットin阿久比」を開催 ○阿久比白沢ホタルの里事業用地購入

＜ふれあいの森 ホタル養殖場＞



＜白沢ホタルの里＞



